

子どもの貧困の早期対策に 実態調査を



議会改革ネットワーク ● 赤祖父 裕美 議員

問 まずは、子どもの貧困の実態を調査する考えは。

答 子どもの貧困は見えにくく捉えづらいものです。その出発点として、実態調査を検討していきます。

問 子ども食堂に対する県の助成金終了に伴う支援策は。

答 「滋賀の縁創造実践センター」が困窮者支援事業の一つとして助成を行っています。県の協議に加わり見極めていきたいです。

問 JR石部駅！利便性の高い駅舎実現と駅前周辺整備事業について

問 コミュニティハウスの位置は、防犯面を考慮し、今の位置がいと聞いていますか。

答 建設時に補助金を頂いており、場所を移動させると適化法の関係から1千万円ほど国に返還金が発生するため、現在の場所での設

置を考えています。

問 改札の位置は便利さも考慮して1階設置がいい、との意見を聞きます。市民の声の反映について。

答 さまざまな意見を収集していきます。

問 駅前ロータリーの一方通行は。

答 協議していきます。



利便性の高い改築が待たれる石部駅

問 災害に備える防災・減災意識向上のために

問 すべての自治区、まちづくり協議会活動の検証、修正、支援は。
答 防災訓練など、市が一緒になって問題点を解決していきます。

「持続可能なまちづくり」について



無所属の会 市民の力 ● 望月 卓 議員

問 減少が見込まれる歳入に、市税の新設による税収確保は。

答 市税による自主財源を確保する方法としては、「目的税の課税」や「法定外税の新設」、「一定税率を定められている税目以外の税率を引き上げる独自課税」があります。全国の自治体においても、宿泊税やペットの飼い主への課税など、さまざまな検討をしています。実際には、限られたものになります。本市においても、都市計画税などの、景気や人口減少などの社会的影響を受けにくく、「応益性」「百分性」「安全性」を観点に、新設に検討を重ね、導入につなげたいと考えています。

問 公共施設の統廃合は。

答 公共施設等総合管理計画に基づく「個別

施設計画」を本年15施設について①建物の安全性の水準②建築後の経過年数③耐震化の状況を④維持管理コストなどを総合的に判断して策定し、統廃合については、「行政改革推進本部」に諮り、実施に向けて取り組みます。

問 うつくし松の今後の取組計画の策定について。

答 30年前の姿を取り戻すことを目標に、平成30年度〜31年度に、文化庁や県教育委員会事務局の指導を受けながら、保存と活用について今後の方向性を示す「ウツクシマツ保存管理計画」の策定に取り組みたいと考えています。



■成木マデに、10数年！